



平成21年度の大学運営上の重点取り組み分野 (年度計画のダイジェスト版)

○大学の基本的な目標

滋賀県は、現在、人口の増加率が非常に高い県であり、「近い将来には、高齢化率が一番低い県(一番若い県)になる」と予想されている。このように増え続ける県民に対して、福祉や安心・安全な医療を提供すること及び住民のニーズにあった医学情報提供の場を設けることは重要な課題である。

また、滋賀県は中央に琵琶湖があるために、結果として環状になっている細長い県といえる。このため地域間のコミュニケーションが比較的とりにくく、医療機関や医療情報のネットワーク構築が求められている。

滋賀医科大学としては、このような地域の特徴を考慮しつつ、独自の新しい医学・看護学の教育・研究を推進するとともに、その成果を滋賀の地から国内はもとより世界に発信し、医学・看護学の発展に貢献すること及び高度な医療を提供することによって、人々の福祉の向上に寄与することを目標とする。

これらの目標を達成するために、構成員の「競争(個性化)」と「協調(和)」を軸にして、組織運営にあたる。

また、教育・研究・医療の一層の充実と基盤強化の観点から近隣の大学との再編・統合を検討する。

平成21年度重点分野【教育1／2】



● 学士教育

□ 国家試験合格率に目標値を設定

- 医師国家試験においては95%以上、看護師国家試験においては98%以上及び保健師国家試験は95%以上の合格率を目指す。

□ 全人的医療体験学習の実施

- 患者訪問実習等の教育プロジェクトの成果を踏まえ、「全人的医療体験学習(患者様訪問実習)」を実施し、コミュニケーションや倫理的配慮ができる能力の養成を図る。

□ 地域「里親」による医学生支援プログラムの実施

- 将来の地域医療を担う医師・看護師の育成を目指し、入学初年より、卒業生等を「里親」、地域の方々を「プチ里親」として配置し、学生への助言体制をつくる。

● 大学院教育

□ 高度専門医養成部門の大学院教育

- 全専攻に「高度専門医養成部門」を設置し、博士の学位と同時に専門医の取得を目指す。

□ 最先端のバイオテクノロジーを取り入れた医学教育の充実

- 長浜バイオ大学との戦略的大学連携事業を活用し、最先端のバイオテクノロジー教育を実施する。

平成21年度重点分野【教育2／2】

戦略的大学連携事業

「びわこバイオ医療大学間連携戦略」

<http://www.shiga-med.ac.jp/renkei/>



事業の紹介

文部科学省が、大学連携による地方の大学教育の充実を成し得る優れたプログラムに対し、財政支援を行う「戦略的大学連携支援事業」に、滋賀医科大学と長浜バイオ大学が連携する「びわこバイオ医療大学間連携戦略」が採択されました。本プログラムは、バイオサイエンスと医学・看護学の融合した新しいバイオ医療学の創設を目指します。

平成21年度重点分野【研究1／2】



重点研究プロジェクトの推進

1. サルを用いた医学研究	<ul style="list-style-type: none">●サルを用いた感染防御研究（鳥インフルエンザワクチンの開発） 【文部科学省 人獣共通感染症基礎研究連携事業】●サルのiPS細胞樹立 【科学技術振興機構 戦略的創造研究事業】
2. 磁気共鳴(MR)医学	<ul style="list-style-type: none">●動物モデルを用いた分子イメージング解析 【科学研究費補助金 基盤S】
3. 生活習慣病医学	<ul style="list-style-type: none">●疾病予防のための大規模コホート研究 【厚生労働科学研究費補助金 健康科学総合研究】●動脈硬化症に関する疫学研究 【科学研究費補助金 基盤研究A、GSK受託研究費】
4. 神経難病研究	<ul style="list-style-type: none">●アルツハイマー病のMR画像診断薬の開発 【科学技術振興機構 育成研究】●アルツハイマー病の治療薬開発のための基盤研究 【(独) 医業基盤研究所 基盤研究事業】

平成21年度重点分野【研究2／2】

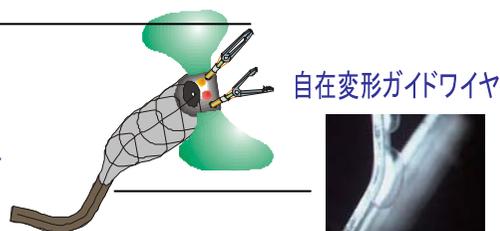
● 滋賀医大の特色となりうる次世代研究プロジェクトと 若手研究者の研究支援

次世代型先端医療研究プロジェクト

体内ロボットの開発
(都市エリア発展型事業)



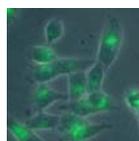
マイクロ波鉗子



自在変形ガイドワイヤ

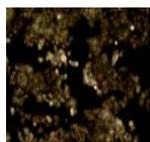


ナノ粒子の医学への応用
(JST育成研究)



細胞中で輝く蛍光
ナノダイヤモンド

暗視野で観察した
細胞内の金ナノ粒子



近赤外に光吸収を持つ
金ナノ粒子の合成とその医学応用
(都市エリア発展型事業)

若手研究者の研究

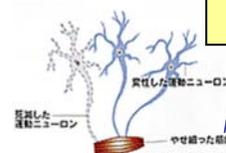
癌抑制遺伝子(RB1CC1)研究
(科研費 特定領域)

精巣腫瘍新マーカー
の臨床応用

ヒト精巣腫瘍研究
(科研費 基礎B)



筋萎縮性側索硬化症研究
(科研費 基盤B)



ALS患者の運動ニューロンと筋肉

平成21年度重点分野【診療1／2】



● 質の高い医療人の育成

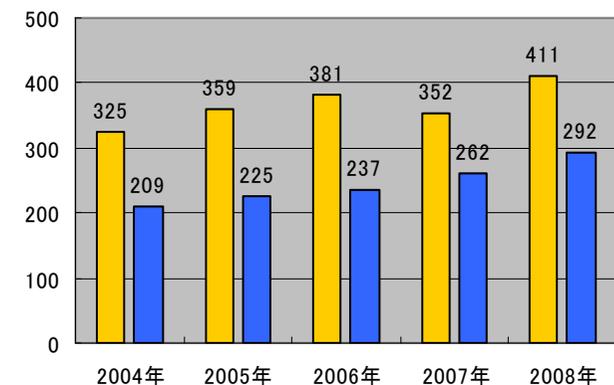
- 研修プログラムの充実等により研修医の地域離れを防ぐ
 - 改組し機能強化を図った医師臨床教育センターで、研修プログラムの充実、初期研修から専門医までの一貫した採用活動や教育コーディネートを実施する。
- 高度専門医療人の養成
 - 「コア生涯学習型高度専門医養成プログラム」を実施し、将来の医療を担う専門医を育成する。
- コメディカルスタッフの専門化・資格取得の推進
 - 専門資格等を指標とした評価制度の導入等により、さらに専門資格取得を推進する。

● 質の高い医療の提供

- 高度専門的心臓血管病診療の推進
 - 冠動脈疾患のインターベンション治療及び重症不整脈の最先端医療の推進
 - 高度専門心臓血管手術(心拍動下冠動脈手術)の推進
 - “No refusal policy”の徹底
- 高度がん治療の推進
 - 高度中核拠点病院としてがん治療の高度化を推進
 - 「がんプロフェッショナル養成プラン-がん専門医師養成コース」を推進
 - 腫瘍センターの機能を拡充

心臓血管外科手術件数

■ 総手術件数 ■ 心臓胸部大血管手術件数



平成21年度重点分野【診療2／2】

● 地域医療への貢献

- 患者支援センターの機能を充実させ、地域医療連携を推進する。
- 滋賀県のがん診療高度中核拠点病院としてがん医療の均てん化を推進し、県民が安心してがん医療を受けられる体制を目指す。
- 周産期医療体制、救急医療体制の実施等による地域医療への貢献。

● 病院再開発 【目指す医療への実現へ向けて】

- A・B病棟の改修が完成し、病棟再開発が終了。アメニティ及び安全管理面等でも向上した病棟に生まれ変わる。
- 母子・女性病棟、小児病棟に最新設備を備え、NICU、GCU機能を強化し、周産期医療の充実を図る。
- 細胞治療センターを新設し、更に内視鏡センターと腫瘍センターの機能を強化する。
- 新手術棟を完成し、ハイレベルの手術診療体制を確立する。



平成21年度重点分野【業務運営1／1】

● 経営に関する取り組み

- 継続的、安定的に教育研究診療を展開しうるよう、次期中期目標期間に向けて、人員・資金・施設設備等に係る中長期的管理計画を策定する。

● 人事に関する取り組み

- 職務遂行能力や成果等を指標とした人事評価(自己評価含む)を行う。
- 評価結果を給与に反映することにより、その成果に応えるとともに、今後の取り組む課題やレベルアップするための課題を明確にすることを目指す。

● 評価に関する取り組み

- 次期中期目標期間にむけて大学として進むべき長期計画等を策定する。
- 法人評価、認証評価の結果やSWOT分析及び学内構成員、学外委員等の意見を広く取り入れて、次期中期目標・中期計画を策定する。

